整理番号		
区分	■製造販売後臨床試験	■医薬品

西暦 年 月 日

重篤な有害事象に関する報告書(第 報)

実施医療機関の長

小倉記念病院 病院長 殿

製造販売後臨床試験依頼者

(名称)

殿

製造販売後臨床試験責任医師

(氏名)

下記の試験において 以下のとおり重策と判断される有害事象を認めたので報告いたします

					・			
被験薬の化学名		製造販売後臨床試験						
又は識別記号						実施計画書番号		
製造販売後臨床 試験課題名								
n-v-3X prive n								
被験者識別コード*								
*: 胎児/出生児の場合は被験者(親)の識別コード 重篤な有害事象発現者の情報								
重篤な有害事象発現者	体重	体重: kg 生		生年月	生年月日(西暦年/月/日):		被験者の体質(過敏症素因等)	
の区分	身長		cm		/ /		□無□有()	
□被験者			年齢: 歳(胎児週齢					
口胎児 口出生児	性別口	別: 重篤な有害事象発現前の月経日 (西 □男 □女 (胎児に重篤な有害事象が発現した)						
重篤な有害事象に関する情報 詳細情報の有無 口あり(口統一書式 口別様式) 口なし								
有害事象名(診断名) 有			『事象発現日 重篤と判断			有害事象の転帰		
試験薬に対する予測の可能性(西		(西暦	暦年/月/日) 重篤と判断した日			12776 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
					(/	/)	(/ /)	
			□死亡 □死亡の			□回復 □軽快 □未回復		
			/ / □入院又は入院期間 □障害 □先天異常			口後遺症あり 口死亡 口不明 		
口既知 口未知				口上記に準じて重篤				
製造販売後臨床	試験	薬に	関する	る情報				
製造販売後		投与期間		有害事象と	の事象発現後の措置			
臨床試験薬			(西暦年/月/日)		因果関係	変更後の用法・用量		
□本剤(盲検下) □本剤		/ / ~ 🗆 / /		口関連あり	□中止 □変更せず □不明 □該当せず			
口その他		口 投与中		口関連なし	│□減量 □増量			
薬剤名:販売名/一般名		投与期間中の用法・用量			変更後の用法・用量			
	· - ·	制口の	制生印	5 主 络 哈	(庄試験の担合け	大部生と関連し		
備考 : コンビネーション製品の製造販売後臨床試験の場合は、本報告と関連した報告書がある旨を記載する。 その他コメントがあれば記載する。								
添付資料								
Wali 2 2 C. 1 1								

注)(長≠責):本書式は製造販売後臨床試験責任医師が作成し、実施医療機関の長及び製造販売後臨床試験 依頼者に提出する。

(長=責): 本書式は製造販売後臨床試験責任医師が作成し、製造販売後臨床試験依頼者に提出する。こ の場合、製造販売後臨床試験責任医師欄及び実施医療機関の長欄ともに記載する。